

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	身体障害治療学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期及び曜時限	前期	教室名	802
担 当 教 員	永田 作馬				
実務経験と その関連資格	<p>一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、外来リハを有する病院で18年勤務。毎日2～3名の脳血管疾患患者を担当し、年間延べ500件以上の作業療法を経験している。平成24年より大阪府高次脳機能障害普及事業の委託を受け、脳卒中、高次脳障害者の就労支援や社会参加に向けたネットワークの構築に貢献。</p> <p>第34回大阪作業療法学会 教育講演 講師、第43回日本作業療法学会「発症後長期経過した脳卒中片麻痺患者における身体像の変化と上肢機能の関連性について」、第98回大阪高次脳機能リハビリ研究会「病識が低下している事例への介入経過」、リハビリテーション・ケア合同研究大会2014 「医療機関における高次脳機能障害の就労支援」報告</p> <p>大阪高次脳機能障がい就労支援勉強会事務局。 日本作業療法士協会認定作業療法士。 大阪府作業療法士会理事。</p>				
《授業科目における学習内容》	<p>主に中枢疾患などの身体障害に対する作業療法評価、治療を習得する。障害発生メカニズム，脳血管障害の発生に関して 脳血管障害の概要（病態・障害像・時期別目標），運動麻痺，運動麻痺の評価，脳血管障害患者のBADL・ADL・IADLについて、脳血管障害患者に対する治療をイメージし、理解する。</p> <p>整形外科疾患として手の骨折や大腿骨頸部骨折を中心とした病態把握、評価、治療の流れを理解する</p>				
《成績評価の方法と基準》	<p>1. 定期試験 80%</p> <p>2. 小テスト 20%</p>				
《使用教材(教科書)及び参考図書》	<p>作業療法学全書 作業治療学1 身体障害:日本作業療法士協会 監,協同医書出版,2014. 脳・神経系リハビリテーション:潮見泰蔵 編,羊土社,2014. ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版:田崎義昭,斉藤佳雄 著,坂井文彦 改訂,南山堂,2018.</p>				
《授業外における学習方法》	<p>授業前及び、授業終了後に教科書を読むことで理解が深まります。</p> <p>評価については、授業時間以外にも実技練習を行い、評価方法を深く理解することが必要になります。</p>				
《履修に当たっての留意点》	<p>実習に向けて、評価・治療の一連の流れを学んでもらいます。知識と技術を結びつけるため、授業内容の理解が必要です。そのため、わからないことは教員やクラスメイトに質問することやグループワークを通じて理解を深めて下さい。</p>				
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	治療とは何かを理解する。	教科書・参考書	身体機能作業療法学	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション・作業療法の流れ・治療とは①			
第2回	授業を通じての到達目標	評価から治療までの流れを理解する。	教科書・参考書	身体機能作業療法学	
	各コマにおける授業予定	脳血管障害に対する具体的な治療をイメージできる。			
第3回	授業を通じての到達目標	脳血管障害の病態や障害像が分かる。	教科書・参考書	身体機能作業療法学	
	各コマにおける授業予定	脳血管障害の概要(病態・障害像)			
第4回	授業を通じての到達目標	脳血管障害の各病期における評価を列挙できる	教科書・参考書	身体機能作業療法学	
	各コマにおける授業予定	脳血管障害の評価について			
第5回	授業を通じての到達目標	連合反応・共同運動についてイメージできる。	教科書・参考書	授業で配布したプリントを復習しておく。 上田法の評価方法を覚えておく	
	各コマにおける授業予定	運動麻痺とは			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	教科書やプリントを見ながら上田法を実施できる	教科書・参考書	上田法の実技練習を行い、理解を深めておく。
	各コマにおける授業予定	運動麻痺の評価(上田法)①		
第7回	授業を通じての到達目標	独力で上田法を実施できる。	教科書・参考書	上田法の実技練習を行い、理解を深めておく。
	各コマにおける授業予定	運動麻痺の評価(上田法)②		
第8回	授業を通じての到達目標	脳血管障害における生活のしづらさをイメージできる。	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	脳血管障害のBADL・ADL・IADL①		
第9回	授業を通じての到達目標	脳血管障害における生活のしづらさをイメージし、作業療法アプローチを考えられる。	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	脳血管障害のBADL・ADL・IADL②		
第10回	授業を通じての到達目標	小脳機能障害・頭部外傷に対するアプローチを考えられる	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	小脳機能障害・頭部外傷の概要(病態・障害像・評価・治療)		
第11回	授業を通じての到達目標	整形疾患の基礎	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	様々な骨折、病態と評価		
第12回	授業を通じての到達目標	上肢、手指の骨折	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	上肢、手指骨折の病態と評価		
第13回	授業を通じての到達目標	上肢、手指の骨折	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	上肢、手指骨折の治療		
第14回	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	大腿骨頸部骨折の病態と評価		
第15回	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折	教科書・参考書	身体機能作業療法学
	各コマにおける授業予定	大腿骨頸部骨折の治療		